地熱異常検知の流れ(比較的データが多い井戸(P1-06T)を使用

データを読み込み(欠損あり、井戸、変数)

とりあえずdf.interporate(direction=both)で補間 (それでもまだ欠損は残る)

週ごとと月ごとにそれぞれリサンプリング

その後もう一度df.interporate(direction=both)で補間 (これで欠損はなくなる, ただし蒸気

データが一つもない蒸気は補間ができない)

分散が0の変数を削除(後で標準化など行うときにエラーを吐く)

セグメントごとにデータを分ける。

それぞれの手法で異常検知を実行。